

セクション1 製造者情報および製品名

製品名称 : デュオマイクロール 100B

製品記号 : 3698A003AA

製造者 : キヤノン電子株式会社

住所 : 〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248

問合せ先 : キヤノン販売株式会社 製品安全推進担当 電話番号 : 03-6719-9729

住所 : 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

MSDS番号 : MD0006-0101

セクション2 物質の特定

単一製品・混合物の区分 : 混合物

危険有害成分

化学名/官報公示番号	CAS #	重量%	日本産業衛生学会勧告値
なし			

化学名	労働安全衛生法管理濃度	USA OSHA PEL
なし		

化学名	ACGIH TLV	DFG MAK
なし		

セクション2 物質の特定 - 続き

発がん物質

化学名	CAS #	記載文献
本製品には、ヒトに対して発がん性の可能性があるとして以下にリストされている物質は含まれていない。 IARC、NTP、OSHA、EU指令67/548/EEC付属書 I		

その他の成分

化学名 / 一般名	重量%
水	80 - 90
チオ硫酸アンモニウム	10 - 20

セクション3 危険有害性の分類

分類の名称：	分類基準に該当しない
緊急時対応の概要：	わずかにアンモニア臭のある無色の液体。
可能性のある健康影響と症状：	
吸入：	通常の使用条件下ではばく露の可能性はない。
経口：	重大な有害影響の情報はない。
眼：	わずかに刺激があるかもしれない。
皮膚：	わずかに刺激があるかもしれない。
慢性影響：	情報なし
暴露により一般的に悪化することが知られている医学的症状：	情報なし

**セクション4 応急措置**

応急措置：

吸入： 通常の使用条件下ではばく露の可能性はない。

経口： 口をすすがせる。 1、2杯の水を飲ませる。  
もし刺激や不快感を生じた場合は、直ちに医師の助言を得ること。

眼： 直ちに、5分間あるいは物質が除かれるまで洗浄すること。  
刺激が残るような場合は、直ちに医師の助言を得ること。

皮膚： 石鹼を使い水で洗うこと。  
刺激が残る場合は、医師の助言を得ること。

医療専門家への注意： なし

**セクション5 火災時の措置**

消火方法：

消火剤： 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、水

不適切な消火剤： なし

特別な消火方法： なし

例外的な火災および爆発の危険性： なし

火災および爆発性：

引火点( )： なし

可燃(爆発)限界： 適用されない

自然発火温度( )： 情報なし

燃焼性： なし

**セクション5 火災時の措置 - 続き**

自然発火性： 情報なし

爆発性： 情報なし

酸化性： 情報なし

危険な燃焼生成物： 亜硫酸ガス

その他の性質： なし

**セクション6 漏出時の措置**

人に関する注意： 皮膚、眼、衣服への接触を避けること。

環境に関する注意： 下水や、地下水へ流出しないこと

浄化方法： 布、紙または砂に吸収させ、適切な廃棄容器に移し入れること。

**セクション7 取り扱いおよび保管上の注意**

取り扱い方法： 皮膚、眼、衣服への接触を避けること。  
適切な換気のもとで使用すること。

保管方法： 直射日光をさけ、約20 の温度状態で保管すること。

**セクション 8 暴露防止措置**

暴露指針： 設定されていない

工学的管理： 通常の換気を行うこと。

個人保護具：

呼吸器の保護：  必要  不要

眼 / 顔の保護：  必要  不要  
安全ゴーグル着用のこと。

皮膚の保護：  必要  不要  
適切な保護衣服、手袋を着用のこと。

**セクション 9 物理 / 化学的性質**

外観： 無色の液体

臭い： わずかなアンモニア臭

pH： 7.2

沸点 / 範囲( )： > 100

融点 / 範囲( )： 適用されない

分解温度( )： 情報なし

引火温度( )： なし

燃焼 (爆発) 限界： 適用されない

自然発火点( )： 情報なし

燃焼性： なし

自然発火性： 情報なし

爆発性： 情報なし

酸化性： 情報なし

蒸気圧： 情報なし

蒸気密度： 情報なし

密度 / 比重： 1.09

水溶性： 可溶

脂溶性： 情報なし

分配係数：  
(n-オクタノール / 水) 情報なし

蒸発率： 情報なし

蒸発速度： 情報なし

セクション10 危険性情報 (安定性・反応性)

安定性：  安定  不安定  
 避けるべき条件： なし

---

避けるべき物質： 強酸、強アルカリ

---

有害な分解生成物： 亜硫酸ガス

---

危険な重合反応：  重合することがある  重合しない  
 避けるべき条件： なし

セクション11 有害性情報

急性毒性：  
 吸入： 情報なし

---

経口： 情報なし

---

眼： 情報なし

---

皮膚： 情報なし

---

感作性： (動物種 :モルモット)  
 Non sensitiser, Sensitisation rate = 0 % (0/10)  
 OECD Guidelines No.406 "Skin sensitisation"  
 Commission Directive 96/54/EC Method B6

---

変異原性： AMES 試験： 陰性 (菌種 :サルモネラ菌 & 大腸菌)

---

生殖毒性： 情報なし

**セクション 11 有害性情報 - 続き**

発がん性： 情報なし

その他： 情報なし

**セクション 12 環境影響情報**

移動性： 情報なし

持続性 / 分解性： 情報なし

蓄積性： 情報なし

生態毒性： 情報なし

その他の有害性： 情報なし

**セクション 13 廃棄上の注意**

廃棄方法： 国の法律や地方自治体の条例に従うこと。

**セクション 14 輸送上の注意**

国連番号： なし

国連輸送品目名： なし

国連分類： なし

国連包装等級： なし

特別な注意： なし

---

**セクション 15 適用法令**

---

化学物質管理促進法：指定化学物質等：該当しない  
労働安全衛生法：通知対象物：該当しない  
毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物：該当しない

---

**セクション 16 その他**

---

その他の情報：  
なし

---

**参考文献：**

米国 労働省, 29CFR Part 1910  
米国 環境保護局(EPA), 40CFR Part 372  
米国 消費者製品安全委員会(CPSC), 16CFR Part 1500  
米国産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices  
米国 保健福祉省 国家毒性プログラム(NTP), Annual Report on Carcinogens  
世界保健機構(WHO) 国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans  
ドイツ学術振興会(DFG), List of MAK and BAT Values  
EU 指令 76/769/EEC, 67/548/EEC, 1999/45/EC  
EU 規則 (EC)2037/2000, (EC)304/2003

**略語：**

EU : European Union  
OSHA PEL : Occupational Safety and Health administration(米国労働安全衛生局)で定めたPermissible Exposure Limit(許容暴露限度値)  
ACGIH TLV : American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生専門家会議)で定めたThreshold Limit Values(許容限度値)  
DFG MAK : Deutsche Forschungsgemeinschaft(ドイツ学術協会)で定めたMaximale Arbeitsplatzkonzentrationen ,Maximum Concentration at the workplace(作業場における最高(許容)濃度)  
TWA : Time Weighted Average(時間加重平均)  
IARC : International Agency for Research on Cancer(国際がん研究機関)  
NTP : National Toxicology Program (USA)(米国国家毒性プログラム)  
OSHA : Occupational Safety and Health Act. (米国労働安全衛生法)

---

本資料中の記述は通常の使用条件の場合に適用されるものです。また、記述内容は作成時における情報に基づいています。

発行日付： 2001年12月19日  
改訂日付： \_\_\_\_\_